

羣書類從

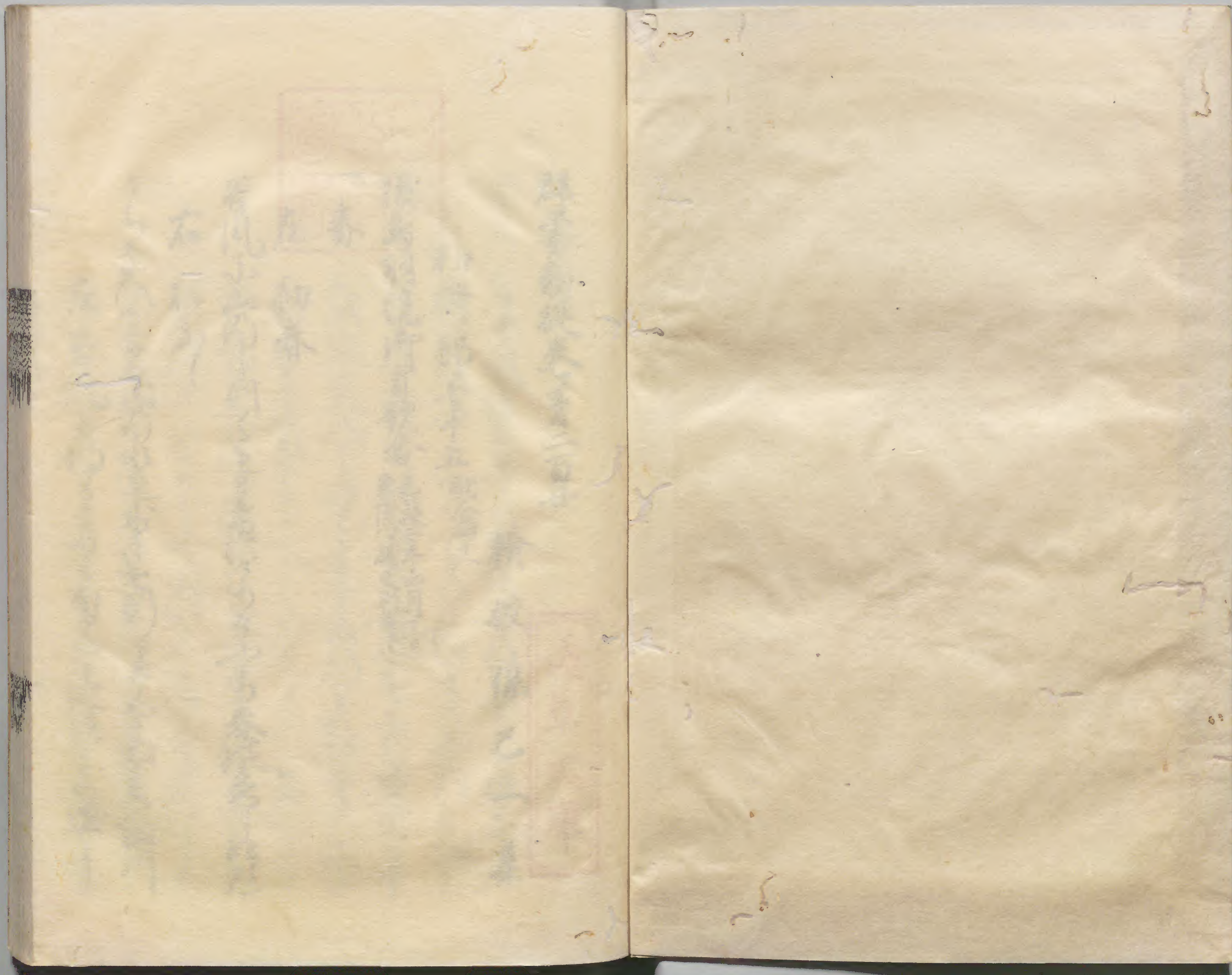
二百廿

庫 文 閣 内		
三 函	六 六 六 冊	一 八 六 九 〇 號
五 架		和 書 類

庫 文 閣 内		
二 函	六 六 六 冊	一 八 六 九 〇 號
二 架		和 書 類

内 閣 文 庫	
番 號	和 18690
冊 數	666(282)
函 號	215 3





Faint, illegible text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.

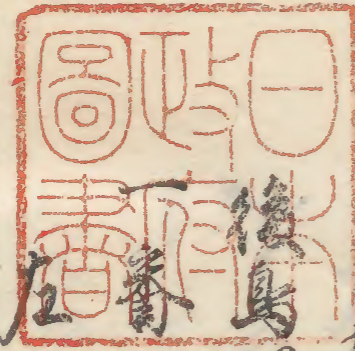
群書類従巻第二百廿

浅草文庫

檢校保己一集

和譜部七十五 歌合四十一

後鳥羽院御自歌合 嘉禄二年四月廿一日
家隆の揚之判進



初春

右 杉の

うらふいさ名園の水を少くも初春の
左 谷風とゆふの句を初春の海

群書類

世にあらざるはたしめしむるは
はたしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは

右又も人にもたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは

二番

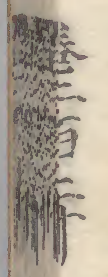


左 鶯

鶯のたしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは

右 鶯

鶯のたしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは
たしめしむるはたしめしむるは



秀逸の持とヤ

三番

左暮春

し野河さくも春の風さくもさくもさくもさくも
右 勢り

さくも春の風さくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
のさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも

さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも

四番

左 曉郭

さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも

右 海邊霧

さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも
さくもさくもさくもさくもさくもさくも

皆是仙法云々中道乃理たり
云々の袖の云乃爲とみくも世思ひ
を云々の衣の裏に珠云々の
わ云々の貴國録也あ云々

建保四年十月十三日終切筆

遺老藤原朝臣定家判

以二樂院書寫之幸又寫之加一校耳

永正七年三月日

右後鳥羽院所自歌合一卷以濱田後秘藏古抄本書寫畢

定家卿自歌合

予少年乃ひくく言齡乃いふふ
氣後休とく和哥はのく箱のく
みくく志くぬも口繫乃因縁くく
所乃實糧よあくと園茲い所城飛生善
乃くく事成光くく思録乃中
くく軍の首乃あをぬも一巻乃哥合
くくを歌と畫録よくく左右よわ
道信とありくく思身くれ部は
くく如教甲八くく事くく乃